
科学技術イノベーション・エコシステム の実現に向けて

2024.12.27 第46回科学技術会議

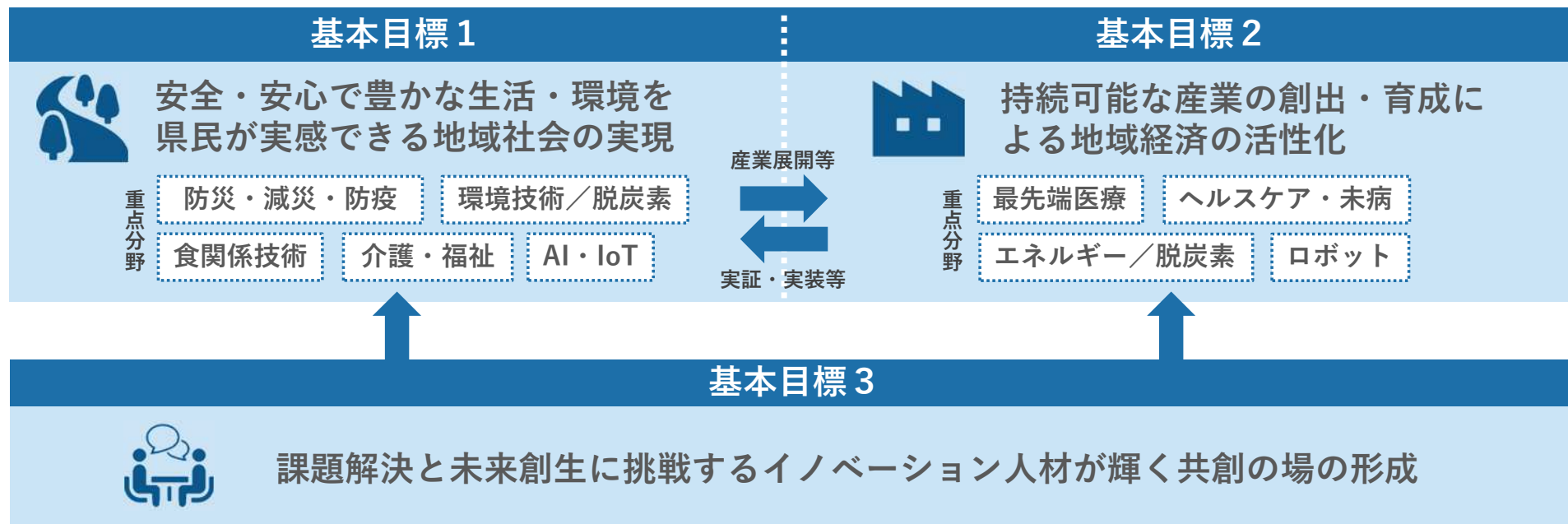
1 神奈川県科学技術イノベーションの経緯

科学技術イノベーションとは、自然現象や社会現象等の科学的な原理や法則等の科学的知見（Science）をもとに、社会での活用を具現化した革新的な技術（Technology）や発想（Idea）により、新たな価値を生み出し、**社会に大きな変化をもたらす（Innovation）**こと

年月	概要
1978（昭和53）年	頭脳センター構想を提唱し、産業構造の転換と 科学技術政策を推進
1988（昭和63）年	県の科学技術の総合的な政策に関する意見を聴取する場として「神奈川県科学技術会議」を設置
1989（平成元）年	全国初の都市型サイエンスパーク である「かながわサイエンスパーク」を整備し、研究開発型企業の育成・交流拠点を形成
1990（平成2）年	全国に先駆けて「神奈川県科学技術政策大綱」を策定
2022（令和4）年	第7期 の神奈川県科学技術政策 大綱 を策定 （安全・安心で豊かな生活・環境を県民が実感できる地域社会の実現や地域経済の活性化等を目標とし、 科学技術イノベーションが次々と創出され社会に展開されていくシステム（イノベーション・エコシステム）の構築を目指す ）

2 第7期神奈川県科学技術政策大綱の概要（R5～R8）

科学技術と社会の**対話の視点**を大切にしながら、科学技術**イノベーション**を推進し、その成果を**社会に実装**していく



3 神奈川県科学技術イノベーション拠点等



【神奈川県内のデータ】

研究所数 : 512件 (全国 2 位)

(出典：令和 3 年経済センサス活動調査)

※ H24～R 3 年の新規立地件数は24件で全国 1 位

(出典：2021 (1月～12月) 年工場立地動向調査)

大学等の数 : 68件

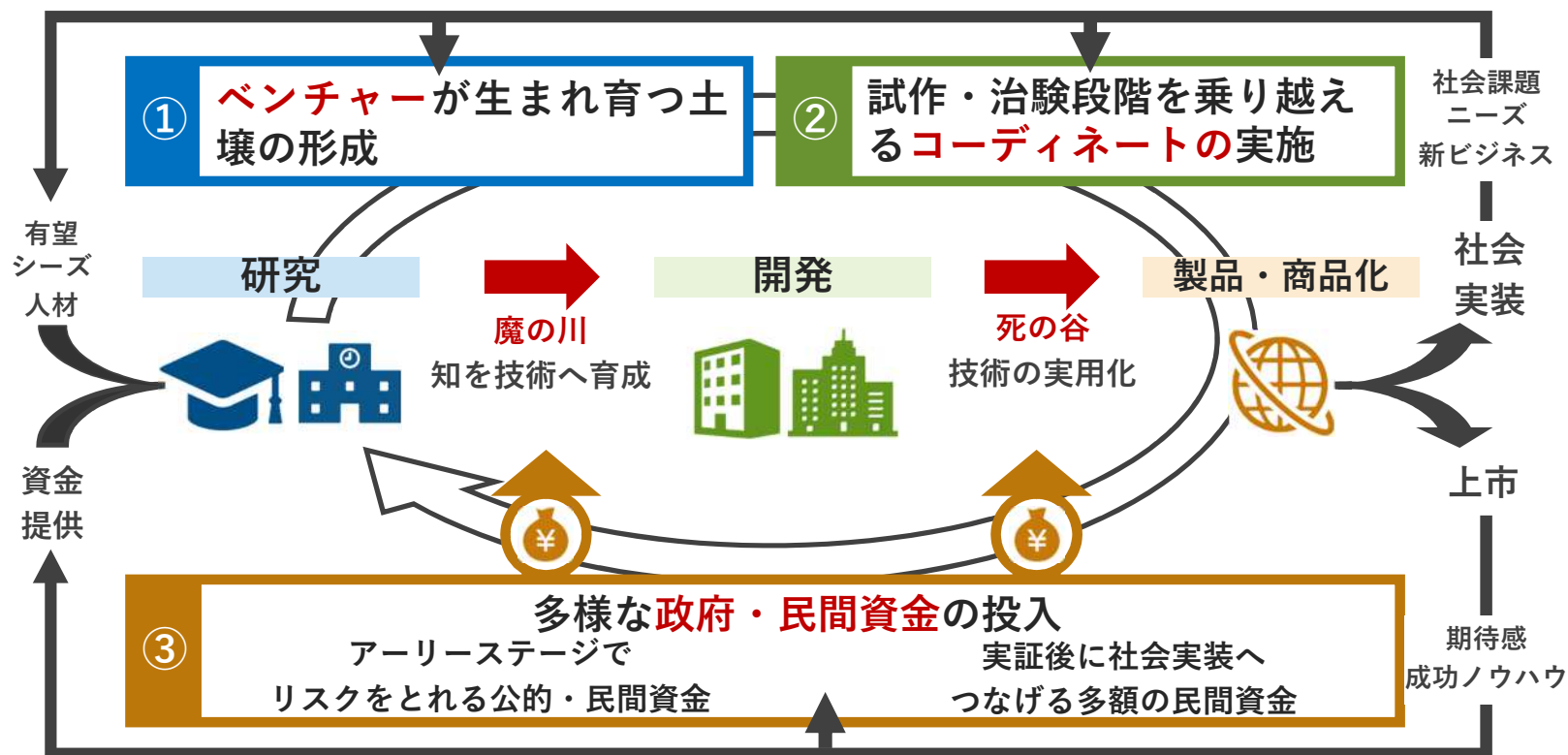
研究者数 : 約1.4万人 (全国 2 位)

技術者数 : 約37万人 (全国 2 位)

(出典：令和 3 年経済センサス活動調査)

4 神奈川が目指すイノベーション・エコシステム

必要な主要要素



5 令和6年度の取組

人材



イノベーション人材の育成

- ①すそ野の拡大
- ②若手研究者の支援
- ③社会との対話

シーズの
社会実装



科学技術イノベーション・エコシステムの構築

- ①技術・知財の目利き・支援
- ②社会実装に向けた支援

資金



多様な資金の獲得

- ①国・関係機関の資金・支援
- ②企業版ふるさと納税

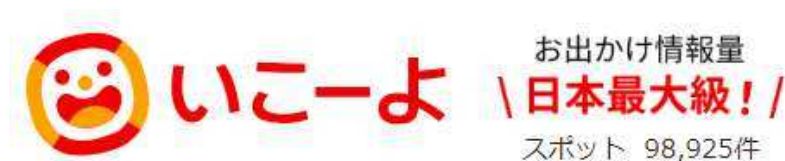
人材



イノベーション人材の育成

①すそ野の拡大

日本最大のお出かけ情報サイトの運営企業と連携し、子ども達の体験機会を拡大



サイエンスかながわへの来場者数

R 5 : 3 4 万人



R 6 : 5 0 万人

人材



イノベーション人材の育成

①すそ野の拡大

子ども達の経験や体験という価値を可視化し、より興味を深化させるため、web3技術を活用したデジタルスタンプラリーを開催



3つの科学館でNFT配布



理化学研究所の特別イベントに招待

参加したご家族の意見

- ・ 特別イベントは増やして欲しい
- ・ 県内各地でスタンプをとれるようにして欲しい
- ・ 子ども達の経験や体験が、将来の価値として残る県の取組は是非進めて欲しい

人材



イノベーション人材の育成

②若手研究者の支援

県内の大学、県試験研究機関の若手研究者の研究支援

県内大学等

【横浜国立大学 等】

- ・ 実用的ニッケル系電池材料の開発
- ・ CO2の分離・回収技術の実用化

計 9 大学等で15研究を支援



東海大学



関東学院大学



国立大学法人
横浜国立大学



聖マリアンナ医科大学



神奈川大学

県試験研究機関

- ・ トラフグ人工採卵技術開発
- ・ 火山モニタリング
- ・ 人獣共通感染症
- ・ ウシの精子選別捕集技術開発
- ・ 腸管出血性大腸菌の解析 計12研究を支援



人材



イノベーション人材の育成

③社会との対話

様々な機会を捉えて、地域社会と科学技術の対話の機会を創出

8月7日 殿町地区 夏の科学イベント2024



参加者：約650人

11月23日 新湘南ウェルビーイングフェスタ2024



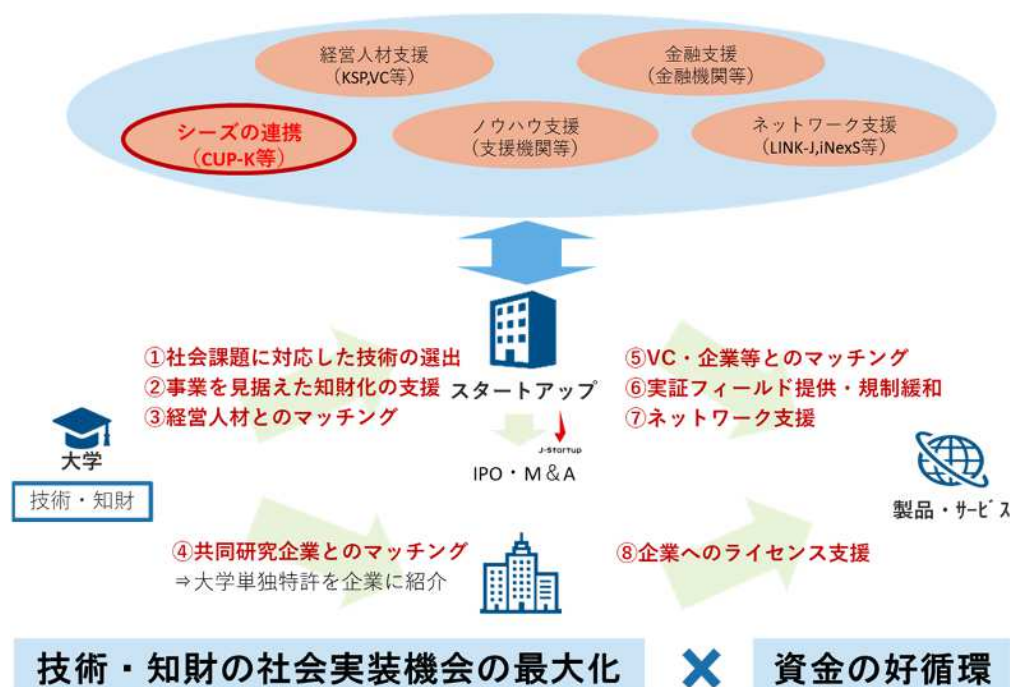
未来のARウォーキング体験

参加者：約2,200人

科学技術イノベーション・エコシステムの構築

①技術・知財の目利き・支援 ②社会実装に向けた支援

科学技術イノベーション・エコシステムを構築するため、神奈川県イノベーション社会実装プロジェクトをR6から開始



科学技術イノベーション・エコシステムの構築

①技術・知財の目利き・支援

かながわ産学公連携推進協議会（CUP-K）と連携し、特許保有数が多い大学を中心に面談・会議を実施。シーズ案件の抽出しリスト化。産学連携の関係を構築。



大学シーズの
リスト化



科学技術イノベーション・エコシステムの構築

①技術・知財の目利き・支援

県内の大学等の技術・知財の育成に向けた、若手研究者の研究支援

県内大学等

【横浜国立大学 等】

- ・ 実用的ニッケル系電池材料の開発
- ・ CO2の分離・回収技術の実用化

計 9 大学等で15研究を支援



関東学院大学



国立大学法人
横浜国立大学



聖マリアナ医科大学

KU 神奈川大学

最先端技術を高校生にレク





科学技術イノベーション・エコシステムの構築

②社会実装に向けた支援

関係機関と連携した、ベンチャー企業支援や、スタートアップによるピッチイベント等の開催等



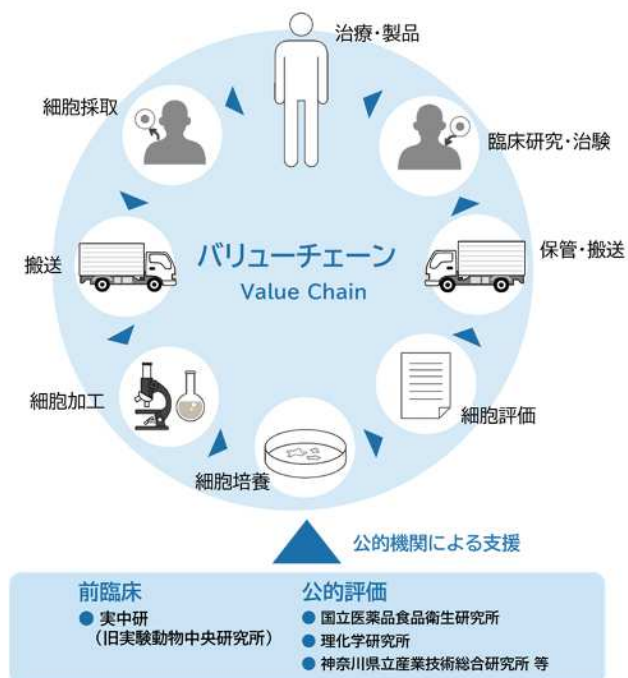
ベンチャー支援の“かながわモデル”

参加者：約200人

科学技術イノベーション・エコシステムの構築

②社会実装に向けた支援

再生・細胞医療等のエコシステムの構築



最先端医療関連のベンチャー企業数

KPI(重要業績評価指標)		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
県の支援を受けて、県内に集積する最先端医療関連のベンチャー企業数(総数)(社)	目標値	—	30	50	55	60	65	100
	実績値	28	33	37	51	70	93	—
	達成率	—	110%	74%	92.7%	116.6%	143%	—

医療機器の薬事申請等の件数

KPI(重要業績評価指標)		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
県の支援を受けて開発された医薬品、再生医療等製品、医療機器の薬事申請等の件数(累計)(件数)	目標値	—	—	15	16	17	18	31
	実績値	7	10	12	18	24	28	—
	達成率	—	—	80%	112.5%	141%	155.5%	—

資金



多様な資金の獲得

①国・関係機関の資金・支援

外部資金の獲得により、これまで県が取り組んできた成果を地域へ展開／還元

共創の場形成支援プログラム（JST） 地域共創分野育成型

2,500万円／年（R5～R6年度）

寝たきり・歩行困難の3大要因を対象に、日常生活の行為・動作データに着眼したヘルスケア技術を研究開発（代表機関：横浜国立大学）



R6：湘南地域で、市民を交えた街歩きワークショップ等を開催

再生・細胞医療・遺伝子治療の社会実装に向けた環境整備事業費補助金（経産省）

約14.2億円（R5年度）

東日本の再生医療のハブとして、様々な大学、企業、公的研究機関が集積し、研究開発を推進（代表機関：藤田医科大学）



R6：キックオフシンポジウムを経て、殿町・羽田再生医療拠点が発足

資金



多様な資金の獲得

②企業版ふるさと納税

科学技術政策大綱推進事業

大綱で定める重点研究目標テーマに関する以下の企業ニーズを踏まえ、県内拠点を核とした事業を実施

①自社技術に貢献／寄与する基礎／基盤研究への研究ニーズ

②開発した設備の実証等の基盤ニーズ



(事例) 地域で共同利用できる
世界最高水準の装置の整備



原子や分子の構造を調べる装置

アルツハイマー型認知症の創薬や人工臓器等のバイオマテリアル分野等、幅広い分野で活用される

核磁気共鳴装置
(Nuclear Magnetic Resonance)

写真提供:
国立研究開発法人理化学研究所

6 課題

人材



体験機会・ターゲット層の拡大、興味を深化させる取組の拡大
若手研究者や研究者を目指す若者への支援

シーズの
社会実装



シーズの社会実装への展開不足
イノベーション・エコシステム関係機関との連携不足

資金



企業版ふるさと納税を活用した研究支援の効果的な周知
研究支援の成果を核とした外部資金の呼び込み

7 R7年度の方向性

人材



体験機会及びターゲット層の拡大と興味を深化させる仕組みづくり

- ・ デジタルスタンプ配付団体の掘り起こし
- ・ 中高生向けのプログラムの実施
- ・ 若手研究者や研究者を目指す若者への支援

シーズの
社会実装



社会実装を見据えたシーズの発掘・支援

- ・ 社会課題に対応するシーズの目利き、リストのアップデート
 - ・ シーズと企業や投資家等のマッチング、実証事業のコーディネート等
- ### イノベーション・エコシステム関係機関との連携強化
- ・ 関係構築に向けたイベント等の連携強化及びシーズの共有

資金



研究支援の効果的な周知とさらなる外部資金の呼び込み

- ・ 県内拠点のシーズ洗い出し
- ・ 既存ネットワークやイベント等を活用した企業への周知
- ・ 海外からの投資も視野に入れた外部資金の呼び込み